

「スマートウェルネスオフィス」

－知的生産性の向上による不動産価値の創出－

2月13日(金) 13:30 ~ 16:30
東京ウィメンズプラザ ホール
(東京都渋谷区神宮前 5-53-67 / 最寄り: 表参道駅)

主催: 一般社団法人 日本サステナブル建築協会 (JSBC)

後援: 国土交通省 (予定)

協力: 知的生産性研究コンソーシアム

スマートウェルネスオフィス研究委員会

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 (IBEC)

参加費: 3,000円 (資料代、消費税含む)

募集人数: 120名

人口減少・少子高齢化の急速な進展、知識社会・情報化社会の進展、地球の持続可能性を脅かす脅威の増大が大きな課題となって久しく、建築分野においても、つくっては壊すフロー消費型から既存の建築物を長く大切に使うストック型への転換と生産性の向上を図るための取り組みが急務となっています。

JSBCでは、「スマートウェルネスオフィス研究委員会 (委員長: 村上周三氏)」の下、「スマートウェルネスオフィス」のコンセプトを提唱し、建築物ストックであり知的資源の集積・運用の場である既存オフィスビルにおいて、利用者の健康・安心の向上を積極的に図り高い知的生産の場を実現すること、これによりビルの資産価値を向上、創出することを目指して検討を進めています。本シンポジウムでは、検討の成果と共にスマートウェルネスオフィス実現に向けた取り組みを広くご紹介いたします。

お申込みはこちらから

I. あいさつ 淡野 博 氏 / 国土交通省 住宅生産課 建築環境企画室長

II. 基調講演

1) 「スマートウェルネスオフィス」とは

村上 周三 氏 / (一財) 建築環境・省エネルギー機構理事長

2) ワークスタイルの変化と進化が求められるオフィスビル

松村 徹 氏 / ニッセイ基礎研究所 金融研究部 不動産研究部長 主席研究員

III. 活動成果の報告

1) ストックビルの将来を考えるー不動産価値について

田辺 新一 氏 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部建築学科 教授

2) 知的生産性の評価を支えるエビデンス

伊香賀 俊治 氏 / 慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授

3) SAP調査で分かるオフィス環境と知的生産性

川瀬 貴晴 氏 / 千葉大学 大学院工学研究科建築・都市科学専攻建築学コース 教授

4) 不動産マーケットにおける CASBEE・知的生産性評価の経済効果

伊藤 雅人 氏 / 三井住友信託銀行 (株) 不動産コンサルティング部 審議役

5) スマートウェルネスオフィスへの気付きを与えるチェックリストの開発

林 立也 氏 / 千葉大学 大学院工学研究科建築・都市科学専攻 准教授

6) 改修でストックビルの長所を活かす

宗本 順三 氏 / 京都大学名誉教授・(株) ラウムアソシエイツ一級建築士事務所代表取締役

7) スマートウェルネスオフィス計画・設計のためのVR活用技術

森川 泰成 氏 / 大成建設 (株) 技術センター技師長

IV. 質疑 司会: 坊垣 和明 氏 / 東京都市大学 都市生活学部 教授

V. まとめ 田辺 新一 氏